

【検証・点検結果により明らかとなった12の課題】～計画変更反映すべき項目～

【生業・暮らし】

- ⑨水産資源をはじめとする様々な地域資源の回復と地域産業の経営強化
- ⑪復興に向けた新しい地域づくり
- ⑫原発事故がもたらした被害に対する多様な対策

【安全・安心】

- ④様々な災害リスクを軽減する総合的な地域づくり・まちづくりの推進
- ⑤防災訓練・教育の充実強化や災害の記録と伝承

【新たな公】

- ⑩地域のコミュニティ確保のための絆の構築

【医療・福祉】

- ⑦災害時における医療体制の強化や安心できる地域医療・福祉サービスの確保

【連携・交流基盤】

- ①広域的な機能分担を踏まえた広域的な地域間連携の促進、協力体制の構築
- ②多様な交通モード間の相互補完、広域交通ネットワークの代替性・多重性の確立
- ③災害時の通信環境の確保、バックアップも含めた情報通信のシステムの構築
- ⑧災害時にも強い供給網の構築と円滑な物流の確保

【エネルギー】

- ⑥再生可能エネルギーの拡大とエネルギーの安定供給

【東北圏の現状と課題】

- ◆人口減少・高齢化の進展
- ◆三次産業が総生産額の7割以上を占め、一次産業は全体の3%弱
- ◆東日本大震災の発生(復興に向けた地域づくり、雇用、防災など)
- ◆原発事故の発生 等

【東北圏の強み】

- ◆農林水産資源のポテンシャル(高い全国シェア)
- ◆再生可能エネルギーのポテンシャル(バイオマスなど)
- ◆広大な圏土
- ◆冷涼な気候・雪
- ◆首都圏から近い距離
- ◆地域固有の資源(豊富な食文化等)
- ◆東日本大震災の経験 等

【有識者懇談会で抽出された将来の発展のポイント】

- 再生可能エネルギー産業の構築
  - ・太陽光、風力、中小水力、地熱、バイオマスなどの豊富な資源が活用可。
  - ・復興産業としての産業の復興や雇用創出の鍵として期待。

- 一次産業の高付加価値化・産業の多様化
  - ・従前からの東北圏の強みであり、更にも高齢化が進む中で、高齢者も活躍できる一次産業を高付加価値化等により強化。
  - ・生産だけではなく加工、販売まで行うなど、産業を多様化。

- 原発事故への対応
  - ・原発事故を受けた中、まず、放射線汚染の防除、低減等環境整備を行うことが将来の発展の大前提。

【実現のための手段】

- ◆企業誘致(再生可能エネルギー産業など)
- ◆復興を支える主体的な人材育成
- ◆他地域との交流・連携
- ◆東北の発想による地域に根ざした東北のやり方 等

【3つの柱立て(案)】

東日本大震災からの復旧と復興  
～安全・安心の確保と被災地の迅速な復興～

【概要】東日本大震災を受け、東北圏の安全・安心の確保と被災地の迅速な復興を図ることが今後の東北圏発展の大前提となる。

原発事故の克服  
～原発事故への対応と継続的な取組～

【概要】原発事故の対応として、まず、放射能汚染の防除、低減等、復興のための環境整備を行うことが東北圏発展の大前提となる。

活力を創出する産業の育成と形成  
～新しい産業の創出と地域産業の振興～

【概要】大震災の復興を図るとともに、日本の未来を見据えた東北圏の発展を目指し、東北圏の特長を活かした新しい産業を創出と地域産業の振興を図る。

【5つの重点事項(案)】

○被災地の復旧と復興、圏域の防災力強化

○原発事故への対応と継続的な取組

○東北圏の特長を活かした産業の育成と発展

○広域連携を支える交通ネットワーク・協力体制の整備

○再生可能エネルギーの利用促進